

# 白杵市下水道事業経営戦略

【特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・漁業集落排水事業】

(平成 29 年度から平成 38 年度)

平成 29 年 2 月

白 杵 市

## 目 次

<b>第 1 章 経営戦略策定の趣旨</b>	<b>1 ページ</b>
1. 策定の趣旨	
2. 経営戦略の位置づけ	
3. 計画期間	
<b>第 2 章 経営の基本方針</b>	<b>2 ページ</b>
<b>特定環境保全公共下水道事業経営戦略</b>	
<b>第 3 章～第 6 章</b>	<b>3 ページ～35 ページ</b>
<b>農業集落排水事業経営戦略</b>	
<b>第 3 章～第 6 章</b>	<b>36 ページ～69 ページ</b>
<b>漁業集落排水事業経営戦略</b>	
<b>第 3 章～第 6 章</b>	<b>70 ページ～97 ページ</b>
<b>第 7 章 経営戦略の進捗管理</b>	<b>98 ページ</b>

## 第1章 経営戦略策定の趣旨について

### 1. 策定の趣旨

下水道とは、市民の生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全という役割をもった、公共性・公益性の高い、重要な基盤施設です。

しかし、人口減少、少子高齢化、生活様式の変化、省資源化、経済成長の鈍化等の社会構造の変化により下水道使用料の大幅な増収は見込めないことから、今後の経営環境は厳しさを増していくことが予想されます。

この「経営戦略」は、それら経営環境の変化に適切に対応し、持続可能な下水道事業の実現に向け、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み、市民に対し「安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供する」ための指針として策定するものです。

### 2. 経営戦略の位置づけ

平成26年8月29日付総務省通知「公営企業の経営に当たっての留意事項について」にて、施設等の老朽化に伴う更新投資の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、公営企業をめぐる経営環境は厳しさを増す中で、引き続き公営企業として事業を行う場合には、自らの経営等についての確かな現状把握を行った上で、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営健全化を行うことが必要であり、そのために、各公営企業において、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むこととされています。

そのため、本市では下水道事業の中でも高資本費対策の対象事業となっている特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・漁業集落排水事業について、経営戦略を策定し、中長期的な収支見通しの下に、維持管理費や建設投資の適正化や使用料金体系の見直しの指針とします。

### 3. 計画期間

平成29年度～平成38年度の10年間

## 第2章 経営の基本方針

下水道事業全般については、適正な維持管理と将来の更新を見据えたストックマネジメントを行っていく必要があります。

また、人口減少、少子高齢化、生活様式の変化、省資源化、経済成長の鈍化等の社会構造の変化により下水道使用料の大幅な増収は見込めないことから、経営環境は厳しくなることが予想されます。

そのため、持続可能な下水道事業の実現に向け、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定し、市民に対し「安全で快適な下水道サービスを持続的・安定的に提供する」ことを基本方針とします。